

2017年ステップ1 ごみを分ける

2018年ステップ2 資源を活かす

2019年ステップ3

リユース食器エリアを拡大



ボランティアの力で、きれいな公園を維持できました。エコステーションでの分別は来場者でした。



奉納花火は、ボランティアの皆さんも来場者の方と一緒に楽しめるひと時でした。



猛暑の中での拾い歩き活動。ごみが散乱しないためにも大切な活動で、エコステーションへの持参を呼びかけもしました。

7月24,25日の2日間、ペットボトルからマイボトルの持参を呼びかけました。

冷却した大阪の水が美味しいと体験！！

給水スポットの試み 659人が利用

海洋プラスチック問題が国際的な規制となった今年、6月に大阪で開催されたG20では「2030年までにプラスチック製品を半減」と決まりました。市民がすぐに出る行動をと、リユース食器の普及と合わせて、使い捨て容器から何度も使うマイボトルへの普及をアピールしました。当日ご利用者でマイボトルの持参者は、外国人観光客そして部活帰りの中学生、高校生たちでした。

今、街にお出かけのときは、マイボトルの習慣はまだまだこれからです。多くの方は「給水できるところがあれば」。公共の場所だけでなく、オフィス、店舗協力など民の力で、街のあちこちで普及したいものです。



一回限りの使い捨て容器から、何回でも使えるマイボトルの普及で、資源循環経済の実践です。そして、安全な公共水道の維持のために、だれでもが無料で飲める給水スポットの民から始める普及活動です。一緒に上げていきませんか。HPで [水 DO!](#) を検索。